



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内

Tel 0532-53-7211 URL <http://www.asakuragawa.net>Fax 0532-53-7210 E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)

## 平成 24 年度朝倉川育水フォーラム

## 定時総会開催

平成 24 年 6 月 2 日（土）カリオンビルで 24 年度定時総会が開催されました。

23 年度事業報告、決算報告、役員選任、24 年度事業計画・予算案について討議可決されました。

身近な生き物たちに目を向け、川を通じて豊かな自然をはぐくみ、育てていく地道な活動をこれからも続けていきます。

ご協力、ご援助これからもよろしくお願いいたします。



&lt;総会&gt;

## 10年間の「河川調査」を報告

フォーラムでは五感で朝倉川を感じてみたいという事で、春、夏、秋、冬の年間4回の河川調査を10年間続けてきました。

川床が大雨で流されてしまったり、水量が極端に少ない年があったり、朝倉川に住む生き物たちも自然と闘いながら暮らしていますが思いのほかたくさんの生きものがあることに驚かされました。



## 第16回530大会開催

4月14日（土）第16回530大会が開催されました。

参加人数は1600人超。65団体（住民団体19、学校5、行政6企業21、市民団体14）

回収ゴミは3.3トン（昨年2.6トン）

今年は雨天になってしまったため、学校関係の参加が出来なく、例年より少ない参加者になってしまいましたが、事故もなく無事終了しました。

併催イベントとして昨年、一昨年に続き第6回「朝倉川へのメッセージ」を募集いたしました。小中学生を中心に215通もの作品が寄せられ、関心の高さを感じます。

（最優秀作品を3頁に発表）

たくさんの方が川に集い、触れ、エピソードが生まれ、人とのささやかな繋がりもこんな取り組みの中から、

根付いていくようです。 <傘をさして>



&lt;開会式&gt;



&lt;気になる天候の中での準備&gt;

# 五感で感じる朝倉川

河川調査で見た  
朝倉川の生きもの

## 水辺の生きもの

魚・貝・甲殻類は一生を水中で過ごしています。昆虫の中には幼虫期を水中で過ごし、水の外へと羽化して成虫になっていくものがあり、それを水生昆虫と呼んでいます。トンボ・ホタル・カワゲラ・カゲロウの仲間たちがそうです。これらの生物は清流を好むもの、汚れた水を好むものなど、それぞれの環境に適した水辺で生活しているのので、何がどのくらいいるかを調べることで水質を知ることができます。これらの生物を『指標生物』と言います。

魚も水質・流量・川の形によって、棲み分けをしています。清流や淵を、水生昆虫が多く、水辺に植物があるところにいるカワムツ、水田・ため池・湧水とつながる水辺に棲むドジョウ類などです。

フォーラムでは四季折々年間4回、10年間にわたって朝倉川の生きものたちを見つめてきました。

テナガエビ モクスガニ

ゲンジボタル成虫

ヌマエビの1種 アメリカザリガニ コシボソヤンマヤゴ ヤンマヤゴ

ゲンジボタル幼虫

カワニナ

コオニヤンマヤゴ

今年たくさんのホタルの乱舞が見られました

アユ オイカワ ドジョウ

ウナギ

## 朝倉川であそぼう

\*\*朝倉川探検隊募集\*\*

朝倉川ではどんな生きものが暮らしているの？どんな所がすきななの？  
川にジャブジャブ入って、生きものと仲良しになるー!!

日時 7月22日(日) 9時30分~11時30分ころ

集合場所 競輪場前駐車場(530大会開会式の会場)

持ち物 帽子、水筒、長靴かぬれてもいい運動靴、ぬれた時の着替え  
バケツ、たもあみ、あれば虫めがね、図鑑など

参加費 無料



# 朝倉川へのメッセージ

## 優秀作品発表

昨年に引き続き 530 大会の併催イベントとして、朝倉川への思いを 1 枚のハガキに絵や写真やイラストで描いて応募していただいたところ、今年は 215 点（昨年 266 点）もの作品が寄せられました。

その中から最優秀賞に選ばれた 5 作品を紹介します。



天野穂乃香さん

### ☆☆☆入選者一覧☆☆☆

**最優秀賞** 天野穂乃香 川原侑奈 後藤玲菜 鈴木梨以 中村優希

**優秀賞** 河合仁実 河合万由子 酒井優歌 萩本欣美

**入選** 赤澤紗也花 梅野里奈 蛭澤萌乃 岡下和美 加藤海渡

神谷 晏 河合薫子 河合冴栄草 北角環奈 小林梨恵

崎下果音 塩田新九郎 白井尚典 鈴木花歩 高野 舞

高見柊斗 中野竜一 野口善弘 堀田和香奈 松本花林

山川日菜子 山口琴音 山本久幹 吉野由恵

**特別賞** 板橋章一 岡本一徳 (敬称略)



後藤玲菜さん



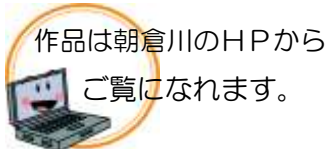
鈴木梨以さん



中村優希さん



川原侑奈さん



### かわになコラム

#### 長いタイムスケールで自然をみる

理事長 高橋豊彦

今年でこの活動がスタートして 18 年目を迎えます。そして今シーズンは朝倉川に例年になく、多くのホタルが飛び交いました。朝倉川の近くにお住まいの方からも「30 年くらいここに住んでいるけど、こんなにたくさんのホタルを見るのは初めて・・・」という言葉も頂きました。これも、ある意味多くの会員をはじめ地域の方々の地道な活動の成果の一つとして、大変うれしい話です。

しかしその一方で自然と云う、一見強固で偉大なものが、我々が想像もつかない複雑な要素が微妙なバランスの上で成り立っていると思うと、私たち人間ができること・・・というものをあらためて考えさせられます。

朝倉川は、河床も含めてコンクリートで整備された、いわゆる三面張りの川です。そのために河床の土砂が滑りやすいなど、生き物にとっての環境変化も非常に激しい川とも言えるかもしれません。生物指標調査の時も見ることが出来る時もあれば、いなくなってしまったのかと思ったら、しばらくぶりに出会う生き物もいます。今や、自然環境と人間の生活は切っても切り離せないものとなってきています。メダカなどは代表的な例ですが、ちょっと少なくなったような気がする種があると「絶滅の危機」と危機感を前面に出す傾向にあります。もっと長いタイムスケールで何がどのように危機なのかを良く考え、やっていくべきことを皆さまと共有できればと思います。

# 平成 24 年度 定時総会報告




24 年度総会が開催されました。(一面に関連記事) 今年度の活動内容の詳細です。

## 活動方針

朝倉川育水フォーラムも設立して 16 年を迎えることが出来ました。これもひとえに会員をはじめ地域の方々の活動への理解とご協力の賜物です。このような自然環境を対象とする活動は、一朝一夕に成果の出るものではありません。また、成果が出たから終わりというものでもありません。「継続は力なり」続け

ていくということが大変重要なことと考えています

本年度も、数多くの事業を予定していますので宜しくお願いいたします。

|  |   |
|--|---|
|  ビオトープづくり事業 | 多米ビオトープ周辺整備、管理棟整備、管理用倉庫の設置<br>炭焼き窯の整備とピザ窯の常設                |
|  里山づくり事業    | 里山エリアの自然を色々な方々に親しんでいただくために、多米ビオトープも含んだ<br>エリアの周回性を促す案内表示の設置 |
| 朝倉川清掃事業  | 朝倉川を見つめる活動  |
|  水辺の緑の回廊事業  | 県、市との協力体制のもと、川縁への新たな企画をし、次なる形での事業を模索して<br>いく                |
| 調査研究事業   | 河川調査の報告書作成  |
| ホタル飼育ネットワーク事業  | 飼育ボランティアや小中学校と連携をとり、ホタルの飼育観察活動を実施する                         |
| PR啓発事業   | 行政・NPO を中心とした外部視察の受け入れを行う                                   |

### 多米ビオトープ周辺は自然あふれる空間 様々な遊びと学びが出来ます

エコやボランティアを始めてみたい、という企業や団体のみなさん、ぜひお出でください。

今までの活動例です。

- ・里山の保全活動
- ・ビオトープ作り
- ・森の沢に橋をかける
- ・ザリガニつり
- ・森の音楽会
- ・ツリーハウス作り
- ・田植え・稲刈り体験
- ・バームクーヘン・ピザ作り
- ・燻製づくり・パン作り
- ・野草を味わう
- ・草木染め
- ・自然観察会 等々



ぜひ、事務局までお問い合わせください。

### \*\*\* これからの予定 \*\*\*

7月22日(日) 朝倉川探検隊(生き物観察会)

8月4日(土) ビオトープ作業

以降: 9月1日

10月6日

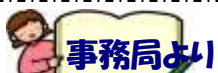
11月3日 収穫祭

12月1日

11月3日(土) 里山・ビオトープ収穫祭



11月17日(土) 第10回植樹メンテナンス大会  
川と海のクリーン大作戦



Facebook のページ是非ご覧ください

会費納入のお願い

ご案内が遅くなり申し訳ありません。

24 年度の会費納入の振込み用紙を同封させていただきました。直接事務局までお持ちいただいても結構です。



### \* 全てのお申込み・お問い合わせは \*

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 0532-53-7211

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)